



THE SERVICE CLUB OF YMCA
THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

2022年10月

c/o YMCA
MINAMI 11 NISHI 11
CUO-KU SAPPORO
〒064-0811
011(561)5217

札幌クラブ

EMC (Extentsion, Membership & Conservation)

— 主題 —

国際会長
アジア会長
東日本区理事
北海道部部长
札幌クラブ会長

「フェロウシップとインパクトで次の100年へ」
「新しい時代とともに、エレガントに変化を」
「未来に向けていますぐ行動しよう」
「出来ることから今すぐ行動しよう！」
「Sustainable Y~中学生、高校生、ユースとともに~」

Samuel Chako(インド)
Chen Ming Chen(台湾)
佐藤 重良 (甲府21)
小谷 和雄 (札幌北)
伏木 康 (札幌)

札幌クラブ役員

会長 伏木 康
副会長 中田 靖泰
書記 小野 健
会計 秋葉 聡志
直前会長 柴田 伸俊

今月の言葉

愛の反対は無関心

エリ・ヴィーゼル (ハンガリー出身のユダヤ人作家) 柴田伸俊選

巻頭言

「石に刻んだ134年」

山崎石材社長 山崎 修



私は今、創立134年の会社を5代目社長として経営しています。初代社長山崎栄太郎は新潟生まれ、明治20年(1887年)、北海道庁庁舎(現在の赤レンガ庁舎)建築のため会津藩として来道し、石工事に従事しました。翌年、札幌に移住。明治38年、札幌市豊平

に石材店を開業しました。これが当社の始まりです。以来134年、当社が北海道各地に残した作品は、石造りの建物、石造家屋、石材彫刻、石像、石碑、石灯籠、各種記念碑などなど数え上げればきりがありません。その中から、皆さんにぜひ機会があれば訪ねて頂きたい当社の作品を3つだけ紹介させていただきます。

1. 増毛 旧商家丸一本商家 (国指定重要文化財)

本商家は、呉服商に始まり練漁の網元、海運業、酒造業などを営み北海道経済を牽引した豪商でした。100年前の明治時代の姿をそのまま現代に伝えています。我が国における洋風建築の波及過程を辿る上でも貴重な建物として国指定重要文化財に指定されています。

2. 札幌市旧大通り郵便局 (国指定重要文化財)

明治31年竣工、札幌中央郵便局として使用され、長年札幌市民に親しまれていましたが、新中央郵便局の落成により民間に払い下げられ、昭和37年犬山市明治村に寄贈され、竣工当時の姿で移築されています。明治洋風石造建築の先駆的価値が認められ国指定文化財となっています。

3. 北の泉岳寺

1953年(昭和28年)砂川の「北泉学寺」は高輪の泉岳寺に「北泉岳寺」と名乗り、赤穂義士を弔うことを許されました。当社は墓所の造営を委託されました。本家・泉岳寺にある四十七士の墓と寸分たがわぬ配置、同じ大きさ、形状の墓石、碑銘という完璧な工事を仕上げました。北泉岳寺では、12月14日に北海道義士祭が開催され、四十七士によるパレード行進が行われています。ぜひ一度足をお運び下さい。

当社はその後石材業の機械化を積極的に進め、滝川市北滝の川に当時、道内最大・最新鋭の石材工場を設け、主力の墓石づくりにいっそ力を入れております。

私、山崎修は五代目です。1992年アルベルビルオリンピックに、フリースタイルスキー・モーグルで、日本人代表となりました。1998年の長野オリンピックではTVでモーグル解説者として、モーグルの後輩、里谷多英さんの金メダルで『やったータエ』を絶叫し、お茶の間に話題を届けさせていただきました？！

現在は、「お墓は人生の物語」をテーマに、墓石デザインプロデューサーとして 新時代に共感される供養と祈りの、家族感動・幸せ空間をお客様に届けるために知恵と人脈を使い活動をしております。特にお墓にQRコードで読み取る「思い出サイト」は好評です。2011年3月11日に起きた東日本大震災の記憶を未来に伝えるために、全優石(一般社団法人全国優良石材店の会)で被災地に500基目標に津波記憶石を建立する「津波記憶石プロジェクト」を立ち上げ、2011年11月岩手県釜石市根浜地区に第一号として当社が製作・運搬・施工を担当し・釜石市に寄贈させていただきました。

昨年、「青少年のために」に賛同し、札幌クラブに入会させていただきました。宜しくお願い致します。

2022年9月例会
出席報告

在籍会員 9名 例会出席者 8名 ビジター(札幌北クラブ) 4名
ゲスト 2名 出席者合計 14名 (内リモート 2名) 出席率 89%

札幌ワイズメンズクラブ 2022年10月例会

日時：2022年10月18日（火）18:30～20:00
会場：北海道YMCA 101 教室+リモート
会費：500円（食事なし）
プログラム

- | | |
|-------------------|------------|
| ① 開会点鐘 | 司会 小野 健 |
| ② ワイズソング、ワイズの信条 | 会長 伏木 康 |
| ③ 今月の言葉 & なぜこの言葉を | 全員 |
| ④ 開会あいさつ | 小野 健 |
| ⑤ 誕生日 | 会長 伏木 康 |
| 札幌 10月17日 | 柴田 伸俊 |
| 札幌北 なし | |
| ⑥ 結婚記念日 | 札幌北 10月13日 |
| 札幌北 10月13日 | 森本武・絢子夫妻 |
| ⑦ 卓話 | |

「ベトナム PHD の現状と働き」 (オンライン)

ベトナム PHD 代表 ユンさん
通訳 小野 健

- | | |
|-----------|--------------|
| ⑧ 諸報告 | |
| ⑨ YMCA 報告 | 担当主事 北川 佳治 |
| ⑨ 北クラブ報告 | 北クラブ会長 小谷 和雄 |
| ⑩ 今月の歌 | |

「群青」 (伏木康選)

- | | |
|----------|---------|
| ⑫ 閉会あいさつ | |
| 札幌クラブ会長 | 会長 伏木 康 |

札幌ワイズメンズクラブ9月例会記録

日時：2022年9月20日（火）18:30～20:00
出席：柴田・秋葉・北川・中田・伏木・宮崎・
リモート:小野・山崎) 小谷・熊・工藤・高杉
(札幌北クラブ)、木田、湯井 (YMCA スタッフ)
9月例会は「登別における自然体験活動の取り組み」というテーマでももんがくらぶ事務局長の吉元美穂さんにふおれすと鉾山からオンラインでお話いただきました。

北海道YMCAとベトナム小学校建設

北海道YMCAが実施しているベトナムでのワークキャンプは、1996年にベトナムにおけるYMCA運動復興を支援するために始まりました。ベトナムの地域の人々とYMCAが協議して決めた教室の建設を北海道YMCAが建設資金の援助とボランティアワークを通じて、その計画を支援してきました。

都市部の子どもたちは、施設の整った環境で質の高い教育が受けられる一方で、農村部では学年数より教室の数が少ない状況（1つの教室を複数の学年が交代で使う）がまだ多く見受けられます。十分な学習時間が確保できないため教育の格差が生じており、その状況を改善するための活動を行っています。その地に生き、暮らす人々と現地のYMCAが協働で計画を立案することで、本当に必要な、緊急性の高いところに教室を作ることが可能となっています。

建設資金は北海道YMCA国際協力募金から支出されています。北海道の子どもたちには「自分たちにもできるベトナムの子どもたちへの支援活動」として、バザーや街頭募金の前にベトナムのこと、国際協力募金のことについて話を聞く時間を設けています。3才から話を聞いている子どもたちは、現地の写真を通じてベトナムを身近に感じ、また、自ら国際協力に関わろうとする意識が育っています。

現在、アメリカのヒューストンYMCA、マサチューセッツYMCA、シンガポールのシンガポールYMCAが北海道YMCAと同じ地域で教室建設の活動を行っています。（右下隅。北海道Y 佐藤雅一君）

なぜこの言葉を！

たまたま家で妻が読んで「マザー・テレサの本」を見ていて、この言葉に出会いました。ブリテンに載せるのに念の為この名言「愛の反対は無関心」を検索してみると、マザー・テレサが言ったのは「私達の敵は無関心です」のようです。あくまでもスマホの検索上で真実は分かりません。ではこの名言の元は？どうもハンガリー出身のユダヤ人作家、エリ・ヴィーゼルのようです。彼は自らのホロコースト経験を自伝的に書き、ノーベル平和賞も受賞しているようです。今月の言葉をきっかけに彼に出会ったことに感謝です。

なぜこの歌を！ 伏木 康

昨年、ユース世代で流行った「群青」という歌で、紅白にも出てました。YOASOBIというグループです。今のユースの心情を歌っているのでしょうか。歌えるワイズメンはいないと思いますので、Youtubeで視聴してはどうでしょうか？



9月例会卓話 登別における自然体験活動の取り組み ももんがくらぶ事務局長 吉元 美穂 様



私は東京都出身です。東京の大学で林学を専攻、そこで森林政策、NPOや市民参加について学び、卒業後は

経営コンサルタント会社に就職。そこで経営にかかわる知識を身につけました。

社会人となり企業の人材育成や組織開発にかかわる仕事につきました。かし、数年が過ぎると、自然環境の中やNPOの場で働きたいと考えるようになりました。その時、NPO 法人格取得を目指している「モモンガくらぶ」を知り、登別にやって参りました。そのモモンガくらぶで NPO 法人設立に携り、以来、事務局長として事務全般を担いつつ、企画、フィールドのガイド、ボランティアの育成、子育て支援事業などに奮闘中です。

モモンガくらぶは、予定されたプログラムに申し込んでいなくても、休館日を除けばいつでも誰でも気軽にやって来て、思い思いに過ごすことのできる場所です。何度か参加して顔なじみになった子どもたちは、一緒に来た親から離れて『何して遊ぶ?』と、子ども同士で自由に楽しみを見つけています。

そうすると親は親同士で集まり、子どもたちの様子を笑顔で眺めながらくつろぐ、そうした風景が日常的に見られますし、もちろん一人で過ごしたい方も歓迎です」。

それこそが、モモンガくらぶが目指している基本の姿です。人が自然に親しみ、その自然を通して学び成長し、輪を広げていく。自然を介して人々が地域でのびのびと幸せに暮らす、そうしたお手伝いを仕事としています。

「モモンガくらぶ」の主な取り組みは?

「自然体験活動」の提供はもとより、自然とのふれあいを盛り込んだ「子育て支援」「人材育成」「地

域づくり」に取り組んでいます。人材育成においては、鉾山町の自然環境を適切かつ安全に伝えるプロの野外教育指導者養成を目指して、「北海道アウトドアアプローザン・ネイチャーガイド」養成講座を開き、認定ガイドを毎年輩出しています。また「北海道アウトドアプロデューススクール」の企画・運営を行っています。

こうした取り組みにより、時を経ても自然に対する知識や理解が正しく受け継がれ、さらに人から人へ広まっていくことが期待できるのです。

また、モモンガくらぶには、会員が好きな企画を発案・運営できる仕組みがあります。興味のあるテーマを自ら「やってみよう」と声をあげるのです。現在は「木工」や「羊毛クラフト」「自然調査」、「森づくり」など20種類以上のチームが活動しています。

そこでの私たちの大事な務めは、それぞれの人々が思い描く企画の実現に向けてのサポート役です。場を提供し、必要な案件をアドバイスして見守り続けてきたことで、運営能力を無理なく身につけた人材が次々と着実に育っています。

これまでの私は決して「アウトドア派」ではありませんでした。野外体験は、学生時代に友人に連れられ、わずかに登山や川あそびをしたくらいです。



北海道に来てからは自然と暮らしの近さに驚き、またその魅力に魅せられています」。働き始めてからは同団体の理事長である松原さんとのフィールドを歩くことがあります。歩きながら花や木の名前をぼつりぼつりと教わるうちにそれらを覚え、季節を繰り返すと、今度はその年ごと、季節ごとの変化も気付けるようになっていきました。「この春は芽吹きが早かった」とか、「今年はこの木の実が多いな」とか。その気付きが面白い。たとえ一人で歩いていても、植物だけでなく、日々異なる風や空の変化を見つけるごとに、そこに自然との対話が生まれます。夢と希望に燃えている毎日です。



写真左「2022年9月例会」

前列 左から：

高杉、伏木、小谷、熊、中田

後列 左から：

北川、柴田、秋葉、湯井、木田

壁面スクリーン：左、小野、右、山崎

YMCA ニュース 担当主事 北川 佳治

① 札幌 YMCA 短期集中ウィンタープログラム：

子供たちの冬休みの体験活動と良き思い出作り
に、札幌 YMCA 短期集中ウィンタープログラムを 12
月 25 日より開催致します。スキースクールをはじめ
の冬休ムをはじめ、バリエーション豊富なラインナ
ップをご用意して皆様をお待ちしております。冬休
みも、是非 YMCA にお越しください！

お申し込み方法
札幌 YMCA 受付・
TEL011-561-5217 ・
ホームページ



② 札幌クラブ・ウエルネスセンター協同企画 「ブラインドサッカー体験会」

本企画は、来る 11 月 12 日（土）、地域の子ども
およびその保護者を対象に、ブラインドサッカー体
験並びに視覚障がい者の生活体験を通じて、障がい
並びに障がい者についての理解を深めてもらうこと
を目的として開催します。

多様性を、知識的にだけでなく体験的に感じて
もらう良い機会ですので、どうぞご家族揃ってご参
加ください。参加費用は無料です。

また、今回は特別ゲストとして、北海道初のブラ
インドサッカーチーム「ナマラ北海道」の選手・
スタッフに進行を行っていただきます。滅多にない
企画ですので、ふるってご応募ください。

お申し込み方法：

札幌 YMCA 受付・TEL011-561-5217
(10月24日9:00より受付開始)



ワイズの信条

1. 自分を愛するように、隣人を愛そう。
2. 青少年のためにYMCAに尽くそう。
3. 世界的視野をもって、国際親善をはかろう。
4. 義務を果たしてこそ、
権利が生ずることを悟ろう。
5. 会合には出席第一番、
社会には奉仕第一を旨としよう。

札幌クラブ 9 月事務会記録

日時： 2022年9月27日（火）19:00～20:15

出席： 伏木（長）・秋葉（以下 web 参加）小野、
柴田、中田、宮崎、安田・北川（19:50～）

1. 10月ブリテン分担確認
2. チャリティパークゴルフ大会について
日程：10月16日（日）
場所：エルクの森PG場・ジンギスカン食事付、
案内配布中。・伏木メン・コメント参加予定。
3. 10月例会の内容について
日程：10月18日（火）
内容：ベトナム PHD ユンさんを卓話者にオンライ
ン例会。 担当：小野メン。
4. 「なまら北海道」とのサッカーイベント：
日程：11月12日（土）13:00～15:00 予定
内容：親子無料イベント 講話・視覚障害者生
活体験・ブラインドサッカー体験で構成。
・道内初のブラインドサッカーチームとのコラ
ボ。伏木会長、北川主事企画の障害者支援プロ
グラムとして予算付け、コーヒーサービス検討。
5. YMCA ラッコマンボウ水泳発表会について
日程：11月23日（水）YMCA プール 9:00 集合
・コーヒー無料サービス実施。
6. 11月例会について
・11月はイベントが多いため、11月15日例
会は休会とし、サッカーか水泳のチャリティーイ
ベントへの参加を例会出席とする。
・札幌北クラブとの調整は伏木会長が行う。
7. チャリティコンサートチケット販売について
日程：12月7日（水） 場所：Kitara 小ホール
・札幌ワイズ8名、北ワイズ5名、各自10枚
販売、計130枚を分担する。
・チケット割り振り作業は秋葉・北川で担当。
・コンサート後の直会の手配は「つぼ八」。
8. 12月例会兼事務会兼望年会兼クリスマス：
・12月20日（火）移動例会 行啓通の居酒屋で
計画。伏木会長案件。
9. 1月合同例会：札幌北ワイズ担当。現在検討中。
10. 後期例会（2023年1～6月）の企画について
・小野メンつながりの卓話候補。食料支援関係。
・アジアユースコンボケーション参加者（栃木 Y）
・同盟杉野スタッフ、世界大会レポート
・篠田えりこ市議の祖父 樋口季一郎中将の話
・次回10月事務会で検討
12. その他 YMCA 行事関連
 - ① YMCA/YWCA 合同祈祷週特別集会
・日程：11月11日（金）18:30～20:00
・場所：未定
 - ② 北海道 YMCA 大会
・日程：11月3日（祝）YMCA 会員の集い
以上記録者：秋葉